

## 売上年計グラフについて

当事務所では、毎月月次試算表綴りをお送りしています。その中に「売上年計グラフ」というものがあります。

このグラフは季節変動を無くす為、平成23年10月分試算表を例に挙げると、平成22年1月～平成23年10月までの1年間の累計金額を表示しています。表の線が右方上がりなら売上が増加、右方下がりなら売上が減少している事を示しています。ただし、気をつけなければならないのは当事務所のこの表は、売上高の全体で示している事です。

例えば、店舗が2つ以上ある場合

A店舗では売上高は増加しているのにB店舗では減少している。全体で見るとA店舗の増加額の方が、B店舗の減少額より多い場合は当然右方上がりになります。

このように店舗が複数ある場合及び取扱商品が複数ある場合には自社で別に各店舗・取扱商品ごとに売上年計表の作成をお勧めします。こうする事で伸びている商品(サービス)、衰退している商品(サービス)を数字で明白にする事ができます(ABC分析の基本)。原則は伸びている商品をさらに伸ばす事が最良の方法です。

しかし、衰退している商品も今までとは違う方法(経営計画方針書セミナーにおいて、8つの計画というものを説明しています。)で、やり方を変えることにより新たな商品(サービス)として生まれ変わるかもしれません。

グラフの線が右方下がりの場合は早急に改善を図る事が必要です。